

## 2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月13日

東

上場会社名 株式会社 アイ・オー・データ機器 上場取引所  
 コード番号 6916 URL <http://www.iodata.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 尚則  
 問合せ先責任者 (役職名)社長室 室長 (氏名)真田 秀樹 (TEL)076(260)3377  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日~2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	45,043	7.1	1,920	△9.4	1,969	△3.5	1,306	△6.3
2018年6月期第3四半期	42,073	15.9	2,120	△1.9	2,040	3.6	1,394	△7.9

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 1,222百万円 (3.8%) 2018年6月期第3四半期 1,177百万円 (△53.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	96.31	—
2018年6月期第3四半期	103.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	42,074	26,010	61.4
2018年6月期	39,792	25,675	64.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 25,853百万円 2018年6月期 25,546百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.2	2,800	△5.8	2,800	△7.0	1,900	△8.1	139.62

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期3Q	14,839,349株	2018年6月期	14,839,349株
2019年6月期3Q	1,607,379株	2018年6月期	1,207,377株
2019年6月期3Q	13,569,820株	2018年6月期3Q	13,410,237株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、総じて堅調な企業業績や消費動向の下、緩やかな回復基調を辿りましたが、国際情勢を巡る様々な問題や中国経済の減速等により、景気の後退懸念は日増しに強まりました。

当社グループに関係するPCや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の国内市場では、働き方改革の推進やPCの更新需要等から上向く企業のIT投資が牽引し堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは、商品・サービスの拡充を通じて伸張する法人需要の獲得に努めるとともに、注目のeスポーツ市場への展開強化、新4K衛星放送対応チューナーの上市等進めて参りました。その結果、液晶モニターや特注製品、SSD等商品部門を中心に販売は好調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は450億43百万円（前年同期比7.1%増）となりました。利益面につきましては、増収に伴い売上総利益は伸張しましたが、研究開発費や人材への投資、基幹情報システム等の設備投資に係る費用を中心に増加した販売費及び一般管理費の伸びを吸収できず、営業利益は19億20百万円（前年同期比9.4%減）、経常利益は19億69百万円（前年同期比3.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億6百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の営業の概況を品目別に説明いたします。

#### [メモリ]

当部門の売上高は17億67百万円（前年同期比35.7%減）となりました。

前年同期と比較し、メモリモジュールは販売不振により減収、メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリは半導体市況に連動し販売単価が低下したことにより減収となりました。

#### [ストレージ]

当部門の売上高は104億89百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

主力のハードディスクは、前年同期との比較において、上期は市場シェア・販売単価共に改善し増収基調で推移しましたが、第3四半期に入り価格競争が進み腰折れし、当第3四半期連結累計期間の売上高はほぼ前年同期並となりました。また、光ディスクドライブは、汎用モデルを中心に販売は堅調に推移しましたが、単価の低下が響き減収となりました。

#### [液晶]

当部門の売上高は126億71百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

企業のIT投資増も追い風に、オフィスモデルや大型モニターの販売が好調に推移した他、eスポーツやデジタルサイネージ市場の開拓を着実に進めました。

#### [周辺機器]

当部門の売上高は58億2百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

前年同期との比較において、無線LANやNAS等のネットワーク分野は僅かながら減収となりましたが、新4K衛星放送や地デジ用のチューナー、ビデオキャプチャー等の映像関連分野の販売は堅調に推移しました。

#### [特注製品]

デジタル家電関連や通信事業者向けのOEMおよび特注品の販売を主とする当部門は案件獲得が進み、売上高は9億1百万円（前年同期比115.2%増）となりました。

#### [商品およびその他]

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門では、サムスン電子製SSD等フラッシュメモリやスマートフォン関連商品、WDブランド商品等の販売好調により、売上高は134億11百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて22億81百万円増加し、420億74百万円となりました。これは、現金及び預金が30億47百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が13億40百万円、たな卸資産が21億14百万円、物流倉庫新設にともない建物が18億10百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて19億47百万円増加し、160億63百万円となりました。これは、短期決済用資金として短期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて3億34百万円増加し、260億10百万円となりました。これは、剰余金の配当により利益剰余金が4億8百万円減少、自己株式の取得により自己株式が4億68百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益13億6百万円の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年2月13日付「2019年6月期 第2四半期決算短信」にて公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,114	6,067
受取手形及び売掛金	11,854	13,195
商品及び製品	8,080	10,159
原材料及び貯蔵品	1,992	2,028
その他	664	918
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	31,705	32,366
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,880	2,880
建設仮勘定	802	364
その他(純額)	937	2,847
有形固定資産合計	4,621	6,092
無形固定資産		
投資その他の資産	1,267	1,221
その他	2,214	2,408
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,198	2,393
固定資産合計	8,086	9,707
資産合計	39,792	42,074
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,306	8,168
短期借入金	—	2,000
1年内返済予定の長期借入金	93	375
未払法人税等	524	451
ポイント引当金	5	3
賞与引当金	—	337
その他	3,332	3,080
流動負債合計	12,262	14,415
固定負債		
長期借入金	1,406	1,125
役員退職慰労引当金	83	83
リサイクル費用引当金	308	324
製品保証引当金	15	39
その他	40	75
固定負債合計	1,854	1,648
負債合計	14,116	16,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,600	4,600
利益剰余金	17,503	18,401
自己株式	△722	△1,190
株主資本合計	24,970	25,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	192
繰延ヘッジ損益	218	192
為替換算調整勘定	71	68
その他の包括利益累計額合計	575	453
非支配株主持分	129	156
純資産合計	25,675	26,010
負債純資産合計	39,792	42,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	42,073	45,043
売上原価	34,238	36,692
売上総利益	7,835	8,351
販売費及び一般管理費	5,714	6,430
営業利益	2,120	1,920
営業外収益		
受取利息	6	14
仕入割引	56	47
為替差益	—	17
持分法による投資利益	9	18
その他	76	63
営業外収益合計	149	161
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	83	—
売上割引	141	106
その他	4	5
営業外費用合計	228	112
経常利益	2,040	1,969
特別損失		
投資有価証券評価損	—	44
特別損失合計	—	44
税金等調整前四半期純利益	2,040	1,924
法人税、住民税及び事業税	529	874
法人税等調整額	68	△294
法人税等合計	597	580
四半期純利益	1,443	1,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,394	1,306



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,443	1,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	△92
繰延ヘッジ損益	△251	△26
為替換算調整勘定	△47	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	0
その他の包括利益合計	△266	△122
四半期包括利益	1,177	1,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,128	1,184
非支配株主に係る四半期包括利益	48	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。